

さ ざ ん か

第 124 号、2012 年 2 月

あけましておめでとうございます。などと、新年のあいさつをしていたころはどこへやら、もうすぐ 3 月になりなんとしています。ぼやぼやしていたらあっという間に年を取ってしまいますが、ぼやぼやしてなくても、年は取ってしまうという、なんとも当たり前というか、冷厳な事実と云うか、永遠の真理みたいなものがありますよね。

アンチエイジングにはしるおばさんたちの気持ちが本気である限り、40 歳過ぎからの、あるいは 50 歳になってからの、などと銘打った化粧品やダイエット食品が売れたりするのは当然でしょう（実際に本当に売れているかどうかは知りませんが）　そもそも若者は化粧をしなくても肌はみずみずしいから化粧品はいらないはずなのに、なまじっか若いときからクリームやらなんやら塗りまくるから肌を痛めるのではないだろうか、その痛めた肌に対して中年以後のお肌に合った化粧品はこれですよ、と勧められたりしているのではないかと思ったりもします。だいたい化粧品コマーシャルにでてるのは若い美形の女の子ですから、本来化粧品はいらない人達です。化粧をしているからかわいく見えるのでなく、化粧をしなくても、もともと可愛い子たちなのですが……。しかも、塗り捲った化粧を落とすための化粧品もあるのですから、女をとりまく化粧の虚々実々の世界はじつにすさまじいものがあります。ある意味、男から見ると限りなくうらやましい世界でもあります。

想像力に乏しく、化粧品の話をしてしまいました。世の美しい 30 歳以後の女性のみなさま、ごめんなさい。人はそれぞれの価値観がありますからね。

ここでは、借金だらけで、このままでは国が潰れるから税金をあげさしてくれ！といっている政府にちょっとケチをつけたかっただけなのです。もちろんただの乏しい発想としての化粧品の例ですから、これは笑って流していただいて良いのですが、ムダと云う意味では、化粧（例えですよ。例え！）のほかにも日本中の食品の食べ残しは、家庭、レストラン、料亭などのすべてを合わせると年に何兆円にもなるでしょうし、賞味期限が切れただけで廃棄している食品だけでも相当額だと思われまます。制度的なモノだけではなくちょっと考えただけでも、たくさんのムダ削減はできそうなきがしませんか。役所の人件費削のため、職がなくて生活保護を受けている人を雇用するとか・・・

いずれにしろ、消費税増税は将来はありうるにしても、ここ数年は許してはいけないと、何とも根拠の薄いムダ削減論をもとでの主張でした。

俳句

西屋敷喜美子

今年こそ 健康願ふ 恵方巻

いつまでも 慣れぬ寒さや 町育ち

老いし夫 痺れの走る 寒の朝

短歌

瀬戸好子

杖つくが恥ずかしがりし 時過ぎて 内外におく愛用の二本

何事も 支えなくして生きられぬ 人と云う字の意味をさとりぬ

予想せぬ 喪中のはがき又も来て 早目に買いし 賀状はあまる

これからの老後をどう生きる

別府 政隆

「さざんか」に何時も投稿させて戴きありがとうございます。

これまでの人生を省みる時、今から凡そ半世紀前、当時、集落の皆が一つになって、活気ある集落が出来ていたのです。近所との付き合いは特に大切にしていた。少しのものでも、お互い分け合い、助け合って生活してきたのです。今日のように、テレビ、電話のなかった時代だけに色々なニュースも少なかった。

増しては、どこの家庭でも子供が多かった。親たちは、苦勞しながら日夜、農作業に明け暮れ、それでも合間に茶飲ん場所、男衆たちは、正中飲ん場所へ集まり、お互い語り合い、知恵を出し合い、工面しながら、ゆいの作業で、お互い助け合いの精神で生きてきたのです。そして、集落を癒していたと思われるのです。

日々の暮らしの中でも、食べるもの、着るもの、履くものは、全て貧しく、想像するだけで悲哀の思い出でならない。この時代の人には、テレビ、電話、炊飯器、冷蔵庫もなかった。

皆、どう過ごしてきたのであろう。氣苦勞したのだ。今こうして考えてみる時、高度成長と共に一変した現在は、金さえ出せば、何一つ不自由のない世の中である。併せ、今一度、考えてみることもあるのではと思う。昨年の3.11東北大震災を想うとき、再

び、この時代のことがよみ返ってくるのです。譲り合い、助け合いの精神があつてのこと、人との絆があると確信するのです。

高齢者になった今、より一層の不安があるのです。土地財産、墓地、認知症、悩むことばかり。最近では、孤独死のこともあるが、今の私たちにとっても深刻に考えても良いのでは。私は、自分なりに考えてみた。自分が元気な時に自分が語れるとき、又、歩ける時に、少しでも良い、前向きに取り組むべきだ。そして、人の話を聞く事、笑う事、一人でも多く、良い友人を持つ事ではなかろうか。お互い友の絆ほど尊いものはない。

自分の残された人生を悔いのないものにしたいものです。

病院からのお知らせ

- * 肺炎ワクチンの予防接種を行っていましたが、ワクチン不足にて予約は中止にしております。しかし、少しずつ回復しており一部で接種可能となっております。詳細は各科外来でお問い合わせください。予約制になっております。
- * 2月4日土曜日に例年開催の「市民のための健康セミナー」を開催いたしました。今年も多数の方のご参加をいただきました。ありがとうございました。
- * インフルエンザ感染もピークを過ぎたようです。マスク着用、面会制限等ご協力ありがとうございました。油断大敵、3月末まではこれまでと同様の対応をお願いいたします。

危険な時代

カラーマン（とその女）

いつもの愚痴である。聞く価値のない愚痴。空しい遠吠え。

戦後 65 年もたってしまった。ちょっと時代をシフトしてみると、明治維新（1968 年）から数えて 65 年目は 1933 年ということになる。昭和でいうと昭和 8 年である。この年の出来事を調べてみると、日本が国際連盟を「堂々と」脱退した年であり、ヒトラーが首相になった年でもある。（原発や 昭和は遠く なりにけり。何のこっちゃ。）

我々日本人は、幕末に、やれ攘夷だ、尊王だ、と日本国をあげて大騒ぎしてついに明治維新をなし遂げた。サムライは今思うと「なんでこんな形なんや」と不思議でならないような髪型であるちょん髷を切り、ハラキリは止め、庶民は名前だけでなく姓をもら

い、大名は版籍奉還しお殿様を卒業した。(大名が領地をあっさりと返納したのには驚くわねえ。お家騒動とか土地がらみでさんざん血を流してきたのにね)

公立の義務教育は整備され全国あちこちにむらなく小学生が出現し、全国あちこちに鉄道を走らせた。西郷さんの西南戦争で維新の仕上げをし、坂の上の雲を目指して清国、ロシアと戦争をして勝利を得、西欧の先進帝国主義国に対抗して遅れて来た帝国主義を実現しようとした。その代償として「国際的な孤児」となるべく国連を見限ったのが、明治維新からの65年目であった。65年間の変化は大きかった。

(ほんとうに、これまではほとんど名も知らぬ、物まねしかしないような極東の野蛮人が、こともあろうか西欧人の知恵の結集でもある国際連盟を堂々と脱退するとは腹立つなあ、と西欧人は思ったに違いないでしょうね。やっと長年の宿敵のイスラムを完全に支配し植民地化したところだったのにね)

65年間のあいだに、なんと多くの劇的で、革新的、革命的なことが起こったことだろう。どの国にへつらうこともなく、堂々と自らの道を歩んできたのだと分かる。もちろん、かなり危うく事後的にはかなり間違っただと判断せざるを得ない選択肢もあっただろう。途中までは王道であったのに、どこかで道を誤ってしまったという見方もあるだろうし、全然間違っただけではない、ただ、時の運と巡り合わせが悪かっただけだという見方もあるであろう。

すべて、戦前の日本人はワルで、大陸でひと殺しをしたり強姦ばかりしまくったというお粗末な自虐史観はさすがにもう下火ではあるが、どこかに根強く残っているのも確かだ。いま振りかえると、いわゆる進歩的左翼人だったと思われる私の中学の時の先生は、「みんな、これから仲良くするのはアメリカじゃないよ、中国だよ」と教えてくれた。私は少なくとも10年以上、この先生の教えに縛られていた。大学生になっても迷うことなくマルクス主義に魅せられていった。せめて、中国の事を教えてくれるのなら、中国共産党と中国と云う国は別で、たまたま今共産党が権力を握ってるだけで、モンゴル人が支配した元と似たようなものなんだよ、とでも教えて欲しかった。(まあ、そういう歴史からすると、チベットも自分のもんだ、という漢民族のねじまがった理屈も分からないではないものね。その先生は共産党シンパだから先生なりに、教えはただしかったのでそしょうね。)

いずれにしろ、65年前以前はすべて日本人自らの頭で考え、議論して来た事だけは確かなことだと思うのだ。65年前、アメリカ人に屈してから、すべてが変わった。国の大元と云うか、拠って立つべきものをカタチとか言葉にしたものが憲法である。カタチにできないものは「国民性」とか「気質」とかいうのであろう。その国の大元の、事もあろうかかつて鬼畜米英とののしっていたアメリカ人が適当ない

い加減な発想で作った「憲法」を65年間も一回も改正せずに過ごした日本人は別の意味で凄いと思う。いったい、明治、大正、昭和と続いた65年間と昭和、平成と年号を連ねた65年間の日本人の違いはどこにあるのであろうか。どちらも大震災を経験をした日本人と言う共通点はあるけれど。(関東大震災と阪神淡路大震災、東日本大震災)
どちらも日本人であることは間違いないであろう、と思う。俗に、傲慢なアングロサクソンが、二度とチビで愚かで黄色いサルが逆らわないように洗脳しようとして作られたのが「平和憲法」だと言う人もいる。原爆を落とす位じゃあ、ジャップに対するお仕置きは足りないからしっかりとした別の形での重しが必要だったのである。ま、それも10年かそこらしか通用しないだろうけど、と思いつつ1週間で作ってしまった。本当かウソかは知らないが、作った本人たちのインタビュー(30年後くらいだったろうか)で、うそやろう、まだあの憲法が生きてるのか?と驚いたとか、驚かなかったとか。(驚いたのは、アングロサクソンの常識では驚きだったし、驚かなかったのは非常識なあの日本人ならそういうこともありうるかもと思えば不思議でもなかったのかもね。)

最貧国に近いバングラディッシュの軍隊に守ってもらっている日本の自衛隊が、かつてはアジア太平洋を席卷した大日本帝国の軍隊の末裔だと信じる事が出来るだろうか。(というより、バングラディッシュに自衛隊が守られるという現状があり得ない話だわね。なぜ、新聞やテレビは大騒ぎしないのかしら?そもそも軍隊に守ってもらう軍隊の意味はあるのかしらね。)

こういう不思議や疑問が多くなった昨今、マスメディアと一緒に国民を騙して政権を取った民主党もようやくお里が知れて来た。第二次世界大戦後、65年間も変わらずに続けている平和ボケ、生命至上主義、人権至上主義、官僚依存体質、カネまみれ体質、平等主義。それらに伴い、家族の崩壊(核家族化、結婚しない男女の増加、単身高齢者世帯の増加)職場の崩壊(終身雇用制度の終焉、派遣社員の増加)、地域の崩壊(高齢化、少子化、シャッター商店街)、国防意識の崩壊(敵がせめて来たら何をさておいて逃げる。)が進む今、起こり始めているのは、既得権益をいかに守るかという人々とそれは壊そうと言う人々との対決である。既得権益を失うことは、死活問題につながる事が多い。お互いに傷つきたくないものだ。本来日本人は闘争心には乏しいように思う。他民族皆殺しなど平気でして来た人々とは異なる。(そういえば、キリスト教徒もイスラム教徒も、モンゴル人も、中国人もみな大虐殺をやってきたという歴史的事実があるわね。)

したがって、まあまあ、なあなあで喧嘩するふりでもして現状維持、既得権益の保護が一番大事であるとわれわれ平凡な日本人は思ってきたのだ。(むきになって、公務員を減らしたり、社会保障費を減らしたりしてもねえ。無用の用と云う言葉もあるしね)

それでやってきた65年間も、そろそろ終止符を打たなければならないときが来たようである。創造的破壊という言葉でいうと大阪市長を中心とする維新の会がそれをやってくれそうである。おそらく、創造的であるにせよ、「破壊」するのだから相応の犠牲が必要なのであるが、果たしてその覚悟が我々にあるかどうか。たとえば、厚生年金や共済年金を年に300万円~400万円近く貰っている数百万人の高齢者の年金が100万円~200万円減額されても、この国のためにはやむを得ないと思う覚悟があるかどうか。もしくは、生活保護受給者が生活保護費をワーキングプアの若者並みの年収に減らされても、あえて受け入れるかどうか。ボケてねたきりになったあとも、胃に穴をあけてチューブを挿入し人工栄養でもって何年も生きながらえる人生に意味はないのでは、と疑問をもてるかどうか。もしくは、その疑問を大声で世間にいえるかどうか。

(世間で云っても実質は新聞、テレビなどのマスメディアとそれに出演することで糊口をしのいでる御用学者や、評論家てことだけだね。)

創造的破壊ができなければ将来は危うい。創造的破壊をするとすれば、相当の血を流さなければならない。まことに、現代は「危険な時代」であるのだ。

(廃棄物処理場建設には賛成だけど、うちの近くには作らないでね。日米安保は必要だけど、米軍はもうそのまま沖縄に居てもらわないと今さらわが県にくるのはなしでしょう。東北のがれき処理には賛成だけど、わが町に持ってくるのは死守するぞー！とっている日本人だから、創造的破壊に期待するのはかなり難しいかもねえ。)

明治維新いらい、日露戦争、大陸への進出、大東亜戦争、敗戦。沢山の出来事を経験してきた日本人。そろそろ65年間も続いた退屈な時代に飽きてくることはないのだろうか。それとも、まだこの腐れ切った既得権益に守られた社会を壊すことはできないのであろうか。

編集後記

さざんかも124号を数えました。モノにも人にも制度にも寿命があります。惜しまれながらも、SLが電気機関車にとってかわられるように、あるいは在来線特急が新幹線にバトンタッチするように、そろそろこの「さざんか」もそれなりのリニューアル、あるいは根本的な生まれかわりが必要なのかなあと、編集者として考えつつあるところです。時は流れる、ということなのでしょうね。

インフルエンザが今年にはやりました。「いつもの」で良かったですね。これがまた得体の知れない新型だったら、マスメディアが大騒ぎした事でしょう。この前の新型インフルエンザより今回のA型の死者の方がたぶん多かったはずですけど、そういう報道はみませんね。(KT)

それにしても、最近のカラーマンシリーズは長すぎますね。冗長にすぎる傾向にある。

